

設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

(第一面)

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者等の氏名	
審査員氏名	

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
3-1 劣化対策等 (構造躯体等)	外壁の軸組等	外壁の構造等 (地面から1m)	☐ 外壁通気構造等 ☐ 製材、集成材等又は構造用合板等＋薬剤処理(現場処理) ☐ 製材、集成材等＋小径13.5cm ☐ 製材、集成材等＋耐久性区分D1＋小径12.0cm以上 ☐ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 ☐ K3以上の薬剤処理(工場処理) ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐ 伏図等 ☐	
	土台	防腐・防蟻処	☐ 土台に接する外壁下端水切り ☐ K3以上の薬剤処理(工場処理) ☐ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐ 伏図等 ☐	
	浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	☐ 浴室 ☐ 防水上有効な仕上げ ☐ 浴室ユニット ☐ 外壁軸組等の防蟻措置等 方法: () ☐ 脱衣室 ☐ 防水上有効な仕上げ ☐ 外壁軸組等の防蟻措置等 方法: ()	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	
	地盤	防蟻措置	・防蟻措置 (☐ 有 ☐ 対象区域外) ☐ ベタ基礎等 ☐ 土壌処理 ☐ その他 方法: ()	☐ 矩計図 ☐	
	基礎高さ	基礎高さ	☐ 地面から基礎上端までの高さが400mm以上		
	床下防湿措置等	床下地盤面の防湿措置 床下換気措置	☐ 防湿方法 [☐ コンクリート ☐ 防湿フィルム) ☐ その他 () ☐ 換気措置 [☐ 換気口 ☐ ねこ土台 ☐ その他] ☐ 基礎断熱工法	☐ 矩計図 ☐ 伏図等 ☐	
	小屋裏換気の措置	小屋裏換気の措置	・小屋裏の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・小屋裏換気設置の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐ 立面図 ☐	
	認定書等	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第二面に記入)		
	評価方法基準 以外の基準	点検措置	床下空間 ・床下空間への点検口の設置 ☐ 区分された床下空間ごとに点検口を設置	☐ 平面図 ☐	
			小屋裏空間 ・小屋裏空間への点検口の設置 ☐ 区分された小屋裏空間ごとに点検口を設置		
		床下空間の有効高さ	・床下空間の有効高さ 330mm以上 (☐ 有 ☐ 無) ・点検に支障のない範囲で上記寸法に満たない部分の有無 [☐ 無 ☐ 有 ()]		
耐震性	1-1 耐震等級 (倒壊等防止)	構造躯体及び基礎等	地震力及び風圧力 ☐ 壁量計算による → 評価方法基準 第5 1-1(3)ホ又はへ①b)による場合 { ☐ 令和7年4月1日以降の基準に適合 ☐ 令和7年3月31日以前の基準に適合 ☐ 許容応力度計算による(ルート1) ☐ その他 () 基礎 ☐ 許容応力度計算による ☐ スパン表 () ☐ その他 () 横架材 ☐ 許容応力度計算による ☐ スパン表 () ☐ その他 () 認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第二面に記入)	☐ 伏図 ☐ 計算書 ☐	
	評価方法基準 以外の基準	限界耐力計算	安全限界変形の検討 ☐ 限界耐力計算による ☐ 各階の安全限界変形の基準に適合		
	1-3その他 (地震に対する 構造躯体の 倒壊等防止)	免震	免震建築物 ☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 ☐ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成	☐ ☐	
		認定書等	認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第二面に記入)		